

< プリオンに関する食品安全確保総合調査概要 >

平成15年度:

伝達性海綿状脳症のリスク評価手法に関する調査・検証事業

我が国におけるTSE (Transmissible Spongiform Encephalopathy) に係る食品等の適確なリスク評価の取組みに資するために、TSEに係る食品等のリスク評価事例、他分野(交通事業、医療、災害対策等) におけるリスク評価事例、リスク評価結果の政策反映に関する情報、TSEに関するリスク評価事例の再検証等について、調査・検証を行った。

平成 17 年度:

1 . 伝達性海綿状脳症 (TSE) に係るリスク評価に関する調査

BSE (Bovine Spongiform Encephalopathy) のリスク評価に関して、出来る限り定量的な評価を試みることが求められるため、今後、予想されるリスク評価に有用と考えられる情報・データとして、a) 食品、飼料、肥料等の製造工程において期待されるプリオンの不活化・除去方法、b) 実用及び開発段階にある TSE 検査の種類と特性の比較及び、欧州委員会等の評価機関による各 TSE 検査の評価の内容、c) 経時的なプリオンの蓄積量と TSE 発症の相関関係等について、収集及び整理を実施した。

2 . 主要国による牛海面状脳症のステータス評価手法に関する情報収集と現状調査 (第 36 回プリオン専門調査会にて概要を報告済み)

主要国政府や研究機関で行われている、BSE ステータス評価に関する文献を収集・整理し、各国における BSE ステータス評価手法を調査・比較検討した。

平成 18 年度 (実施中) :

B S E に関するリスク評価に資する情報収集調査

平成 17 年度の調査 (主要国による牛海綿状脳症のステータス評価手法に関する情報収集と現状調査) 結果を基に、BSE に起因する食肉及び牛由来食品の安全性に関するリスク評価に資するために、食品の BSE リスク低減をめぐる国際機関の対応及び主要国における食品の BSE リスクをめぐる管理の現状等に係る資料について、収集、整理、分析を行う。